

迎春

年頭のごあいさつ



寄居町議会議長
大久保 博幸



寄居町長
島田 誠

町の発展のため、全力を尽くします

平成23年の年頭にあたり、寄居町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆様には健やかな新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。私は昨年6月の定例議会において、議員各位のご推挙をいただき、議長という大役を仰せつかり、その職責の重大さを認識しつつ町民の皆様と議員各位のご協力を賜り、町政の発展と円滑な議会運営をめざして誠心誠意努めてまいりました。新しい年を迎えるにあたり、皆様方のご指導、ご協力に對しあらためて感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年は地球全体の温暖化の影響か、異常気象の様相を呈しておりました。集中豪雨も各地にあり、また梅雨明け後には連日猛暑が続き、熱中症で救急搬送された人も多数あり、寄居町で亡くなられる方もありました。自然環境破壊に對し警鐘を鳴らされた年でありました。

一方、国内経済も世界的な不況の影響を受け、景気回復の兆しすら見えません。雇用情勢の悪化により、新規卒業者の就職内定率の低下傾向に歯止めがかからな

皆様の幸せが増えるよう頑張ります

明けましておめでとうございませう。皆様には、健やかに、卯年の新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。私は、昨年行われた町長選挙において、「親身な町政」をスローガンに、町民の皆様との対話の中から生まれた政策を掲げ、歴史と伝統のある寄居町の第6代町長として就任させていただきました。

私の掲げる「親身な町政」とは、まず、町民の皆様のお話をよく聞かせていただくとともに、様々な視点で、現状と一緒に受け止めて頂くとことから始まるものと考えております。皆様も既にご承知の通り、現在の日本社会は、様々な場面で戦後の制度が行き詰まりをみせ、そして、その対応のため、社会状況が大きく変化しようとしております。

世界に目を転じれば、一国の経済問題が、一瞬のうちには世界中に広まり、他国に大きな影響を与える時代になりました。国内の政治状況に目を向